

FL-PR5 (D25) 使用上の留意点

(FL-PR5 リリースノート)

本文書は、FL-PR5 (以下 FP5) 使用時の制限事項、注意事項を記述しています。(今回の変更点は★印)

なお、ターゲット・デバイスの制限については、ターゲット・デバイスのユーザーズ・マニュアルまたは制限事項文書を参照願います。

0. はじめに

(1) プログラミング GUI、ユーザーズ・マニュアルの入手について

本製品にはプログラミング GUI (GUI ソフト) 及びユーザーズ・マニュアル等は添付されておりません。下記弊社 Web サイトの FL-PR5 専用ページよりダウンロードしてください。

<http://sys.ndk-m.com/>

→ 製品サポート情報 → ダウンロード → ソフトウェア・バージョンアップ

→ ASMIS フラッシュプログラマ (ファームウェア、FPGA データもここから入手できます。)

(2) パラメータ・ファイルの入手について

本製品にはターゲット・デバイスに対応したパラメータ・ファイルは添付されておりません。

下記のルネサス エレクトロニクス Web サイトより PG-FP5 用を入手して下さい。

日本語版 http://japan.renesas.com/pg_fp5 , 英語版 http://www.renesas.com/pg_fp5

(3) 書き込み品質

書き込み品質の向上のために下記の内容を十分理解し、検証、評価した上でご使用ください。

- ・デバイスおよび本製品のユーザーズ・マニュアルに記載された回路設計に沿っている
- ・デバイスおよび本製品のユーザーズ・マニュアルに記載された使用方法である
- ・ターゲット・システムに供給する電源が安定している

1. 製品バージョン

本体バージョン(注)	ファームウェア	FPGA	プログラミングGUI	備 考
A0, A2	V1. 00	V1	V1. 00	
A3	V1. 01	V1		
A4, A5	V2. 00	V2	V2. 00	
A6	V2. 01	V2	V2. 01	
A7	V2. 02	V2	V2. 02	
C8, A8	V2. 03	V2	V2. 03	
C9, A9	V2. 04	V2	V2. 03	
C11, C10, A10	V2. 05	V2	V2. 05	
D12, C12, A12	V2. 06	V4	V2. 06	
D13, C13, A13	V2. 07	V4	V2. 07	
D15/14, C15/14, A15/14	V2. 09	V4	V2. 09	
D16, C16, A16	V2. 10	V4	V2. 10	
D17	V2. 10	V4	V2. 10	
D18, C18, A18	V2. 11	V4	V2. 11	
D19, C19, A19	V2. 12	V4	V2. 12	
D22/21/20, C20, A20	V2. 13	V4	V2. 13	D21 で筐体素材変更 D22 で AC アダプタ銘板変更
D24/23, C23, A23.	V2. 14	V4	V2. 14	D24 で電源ジャック部補強
★ D25, C25, A25	V2. 15	V4	V2. 15	

<バージョンの確認方法>

- ・本体バージョン : 本体裏面に表示 (本体バージョン D*, C*, A*は機能的に等価です。)
- ・ファームウェアバージョン : メニューバーのProgrammer>Reset により表示
- ・プログラミング GUI バージョン : メニューバーのHelp>About により表示

(注) 基本的に、指定のファームウェア、FPGA、プログラミング GUIとの組み合わせでご使用ください。

2. 仕様追加/変更事項

2.1 仕様追加/変更事項一覧

	仕様追加/変更事項	製品バージョン																	
		A0	A3	A4	A6	A7	C8	C9	C11	D12	D13	D15/14	D16	D17	D18	D19	D22-20	D24/23	D25
		A2	A5				A8	A9	C10	C12	C13	C15/14	C16	C18	C19	C20	C23	C25	
								A10	A12	A13	A15/14	A16	A18	A19	A20	A23	A25		
1	Cancel ボタンの仕様変更	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	FP5 Manager 機能の仕様追加	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	通信コマンド機能の仕様追加	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	リモート・コネクタ機能の仕様追加	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	[Erase memory before download]チェック・ボックスの配置変更	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	[Checksum]コマンドの表示に関する仕様変更	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	プログラム・ファイルのサイズ・チェック機能の仕様追加	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	[Enable target RESET]機能の仕様追加	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	アクション・ログ・ウィンドウ表示の仕様変更	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	メッセージ・ディスプレイ表示の仕様変更	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	ESF ファイル、PR5 ファイルの格納先を任意に指定できる仕様追加	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	プログラム・ファイルのアップロード機能の仕様追加	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	日本語 OS 使用時の GUI の表示仕様変更	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	UART 通信 500kbps の仕様追加	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	[ワイドボルテージ・モード]([Wide Voltage mode])機能追加	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	[書き換え保護設定](Block protection)エリアの配置変更	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	HCUHEX ファイル読み込み機能追加	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	プログラムファイル・サイズ監視機能追加	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	Powerボタンの仕様変更	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	[FSW 変更禁止]機能追加	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	[OCD セキュリティ ID 設定], [オプション・バイト設定]機能追加	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	14 ピンインタフェース対応 (*VUP 対象外)	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	RL78 ファミリー対応	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	RX600 シリーズ対応	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	対応 Windows の変更	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	78K0 の UART 外部クロック書き込みに対応	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	インストーラの変更	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28	デバイスイメージ・ファイル読み込み機能の仕様追加	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

	仕様追加/変更事項	製品バージョン																	
		A0	A3	A4	A6	A7	C8	C9	C11	D12	D13	D15/14	D16	D17	D18	D19	D22-20	D24	D25
		A2	A5				A8	A9	C10	C12	C13	C15/14	C16	C18	C19	C20	/23		
							A10	A12	A13	A15/14	A16	A18	A19	A20	C23	A23			
29	R8C ファミリア対応	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30	SuperH ファミリア対応	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31	RX ファミリアのファイルチェックサム機能を仕様変更	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○	○	○	○	○	○
32	データ・フラッシュの最小単位書き込み機能追加 (V850E2/Fx4-L, V850E2/FF4-G, V850E2/FG4-G)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○	○	○	○	○	○
33	電源アダプタの仕様変更 (*VUP 対象外)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○	○	○	○	○
34	データ・フラッシュの最小単位書き込み機能追加 (V850E2/Px4-L)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○	○	○	○
35	ユニークコード埋め込み機能追加	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○	○	○	○
36	プログラミングエリア設定で2分割を仕様追加	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○	○	○	○
37	FINE 書き込み機能追加	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○	○	○	○
38	ファイルチェックサム機能における、合計値の計算 方法を変更	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○	○	○	○
39	対応 Windows の変更	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○	○	○
40	RH850 ファミリア, RX700 シリーズ(RX64x グループ含む) 対応	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○	○	○
41	通信ポート名の仕様変更	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○	○	○
42	Trusted Memory 機能対応	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○	○
43	データフラッシュの最小単位書き込み機能追加 (RX(RX700, RX64x 除く), RH850(RH850/F1L 除く))	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○	○
44	対応 Windows の変更	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○
45	電源ジャックの補強 (*VUP 対象外)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
★	46 データフラッシュの最小単位書き込み機能追加(RX700, RX64x, RX65x, RH850/F1L)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○
★	47 sid コマンドに任意の ID コードを指定する機能追加	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○
★	48 対応 Windows の変更	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○

※D24 のみ適用

— : 対象外 × : 仕様追加/変更未対応 ○ : 仕様追加/変更対応

2.2 仕様追加/変更事項詳細

No.1 Cancel ボタンの仕様変更

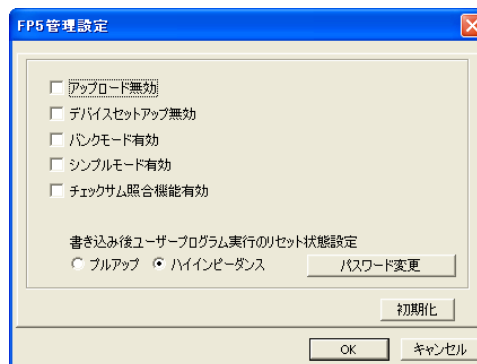
【内 容】 FP5 本体の Cancel ボタン機能について、全てのコマンドに対して中断する機能から、Read コマンドのみ中断する機能に仕様変更しました。

【改善案】 製品バージョン A3(ファームウェア:V1.01/FPGA:V1/GUI:V1.00)以上で仕様変更されております。

No.2 FP5 Manager 機能の仕様追加

【内 容】 FP5 Manager 機能を仕様追加しました。以下の機能が設定できます。機能詳細は、ユーザーズ・マニュアルを参照してください。

- ・パスワード機能
- ・アップロード禁止機能
- ・デバイス・セットアップ禁止機能
- ・バンク・モード有効機能
- ・シンプル・モード有効機能
- ・チェックサム比較機能
- ・リセット端子特性切り替え機能



【改善案】 製品バージョン A4,A5(ファームウェア:V2.00/FPGA:V2/GUI:V2.00)以上で仕様追加されております。

No.3 通信コマンド機能の仕様追加

【内 容】 FP5 のシリアル・コネクタにホスト・マシンを接続し、通信ソフトウェアから通信コマンドを使用して FP5 本体を操作する仕様を追加しました。機能詳細は、ユーザーズ・マニュアルを参照してください。

【改善案】 製品バージョン A4,A5(ファームウェア:V2.00/FPGA:V2/GUI:V2.00)以上で仕様追加されております。

No.4 リモート・コネクタ機能の仕様追加

【内 容】 FP5 のリモート・コネクタに外部制御装置を接続することで、FP5 本体をリモート操作する仕様を追加しました。リモート操作により、書き込みや PASS/ERROR 表示を外部制御装置で操作、確認することができます。機能詳細は、ユーザーズ・マニュアルを参照してください。

【改善案】 製品バージョン A4,A5(ファームウェア:V2.00/FPGA:V2/GUI:V2.00)以上で仕様追加されております。

No.5 [Erase memory before download]チェック・ボックスの配置変更

【内 容】 [Erase memory before download]チェック・ボックスを Download file ダイアログから、デバイス・セットアップ・ダイアログ[Target]タブの[Object HEX file]エリアに配置変更しました。

【改善案】 製品バージョン A4,A5(ファームウェア:V2.00/FPGA:V2/GUI:V2.00)以上で仕様変更されております。

No.6 [Checksum]コマンドの表示に関する仕様追加

【内 容】 プログラミング GUI 操作による[Checksum]コマンドおよび、スタンド・アローン操作によるコマンド・オプションで [Checksum]コマンド実行時にも、チェックサム結果がメッセージ・ディスプレイに表示するように仕様追加しました。

【改善案】 製品バージョン A4,A5(ファームウェア:V2.00/FPGA:V2/GUI:V2.00)以上で仕様追加されております。

No.7 プログラム・ファイルのサイズ・チェック機能の仕様追加

【内 容】 ダウンロードしたプログラム・ファイルのアドレス範囲がデバイス・セットアップ・ダイアログ[Standard]タブの [Operation mode]エリアで設定したアドレス範囲から外れている場合、Program、Verify、Autoprocedure[EPV]コマンド実行の際にワーニング・メッセージ“WARNING: HEX file exceeds target device flash range.”をアクション・ログ・ウインドウに表示する機能を追加しました。

【改善案】 製品バージョン A4,A5(ファームウェア:V2.00/FPGA:V2/GUI:V2.00)以上で仕様追加されております。

No.8 [Enable target RESET]機能の仕様追加

【内 容】 [Enable target RESET]機能を有効にすると、RESET 端子は入力モード(Hi-Z)になり、各コマンド実行直前直後に FP5 は RESET 端子に入る立ち上がり、立下りエッジ検出を行います。機能詳細は、ユーザズ・マニュアルを参照してください。

【改善案】 製品バージョン A4,A5(ファームウェア:V2.00/FPGA:V2/GUI:V2.00)以上で仕様追加されております。

No.9 アクション・ログ・ウインドウ表示の仕様変更

【内 容】 コマンド実行後のアクション・ログ・ウインドウ表示において”OK”から”PASS”に表示仕様を変更しました。また、エラー・メッセージにメッセージ・ディスプレイで表示するエラー番号を表示するように仕様追加しました。

【改善案】 製品バージョン A4(ファームウェア:V2.00/FPGA:V2/GUI:V2.00)以上で仕様変更されております。

No.10 メッセージ・ディスプレイ表示の仕様変更

【内 容】 今回の機能追加に伴い、全コマンドの表示内容を改善しました。

【改善案】 製品バージョン A4,A5(ファームウェア:V2.00/FPGA:V2/GUI:V2.00)以上で仕様変更されております。

No.11 ESF ファイル、PR5 ファイルの格納先を任意に指定できる仕様追加

【内 容】 従来、ESF ファイル、PR5 ファイルの格納先はプログラミング GUI インストール先の FP5_PRJ フォルダのみでしたが、任意のフォルダに指定できるように仕様追加しました。

【改善案】 製品バージョン A4,A5(ファームウェア:V2.00/FPGA:V2/GUI:V2.00)以上で仕様追加されております。

No.12 プログラム・ファイルのアップロード機能を仕様追加

【内 容】 プログラム・ファイルのアップロード機能を仕様追加しました。なお、FP5 Manager 機能でアップロードを禁止することも可能です。

【改善案】 製品バージョン A4,A5(ファームウェア:V2.00/FPGA:V2/GUI:V2.00)以上で仕様追加されております。

No.13 日本語 OS 使用時の GUI 表示仕様変更

【内 容】 日本語版の OS 上ではプログラミング GUI の表示が日本語になるように仕様変更しました。

【改善案】 製品バージョン A6 (ファームウェア:V2.01/FPGA:V2/GUI:V2.01)以上で仕様追加されております。

No.14 UART 通信 500kbps の仕様追加

【内 容】 78K0R 以外のターゲット・デバイスを選択した時にも UART のボーレートで 500kbps を選択できるように仕様変更しました。ただし、ターゲット・デバイスが対応していない場合は 500kbps では通信できません。各ターゲット・デバイスで使用可能なボーレートはデバイスのユーザズ・マニュアルおよびパラメータ・ファイルの補足資料を参照してください。なお、ターゲット・デバイスが 78K0R の場合は、プログラミング GUI V1.00 より 500kbps を使用できません。

【改善案】 製品バージョン A6 (ファームウェア:V2.01/FPGA:V2/GUI:V2.01)以上で仕様追加されております。

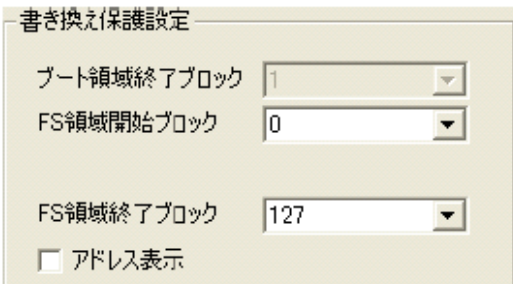
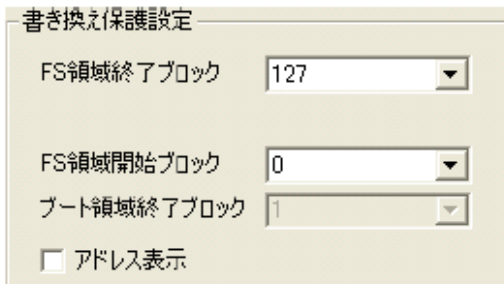
No.15 [ワイドボルテージ・モード]([Wide Voltage mode])機能追加

【内 容】 [コマンドオプション]([Command options])エリアに[ワイドボルテージ・モード]([Wide Voltage mode])チェック・ボックスを追加しました。[ワイドボルテージ・モード] ([Wide Voltage mode]) をチェックした場合、ワイドボルテージ・モードで各コマンドを実行することが可能になります。チェックしない場合、フルスピード・モードで各コマンドを実行することが可能になります。なお、[Wide Voltage mode]チェック・ボックスは本機能が対応しているデバイスを選択したときに、有効になります。ワイドボルテージ・モード、フルスピード・モードについてはデバイスのユーザズ・マニュアルを参照してください。78K0R 以外のターゲット・デバイスを選択した時にも UART のボーレートで 500kbps を選択できるように仕様変更しました。

【改善案】 製品バージョン A7 (ファームウェア:V2.02/FPGA:V2/GUI:V2.02)以上で仕様追加されております。

No.16 [書き換え保護設定](Block protection)エリアの配置変更

【内 容】 [書き換え保護設定](Block protection)エリアの配置を変更しました。

<変更前>	<変更後>
	

【改善案】 製品バージョン A7 (ファームウェア:V2.02/FPGA:V2/GUI:V2.02)以上で仕様追加されております。

No.17 HCUHEXファイル読み込み機能追加

【内 容】 旧 NEC エレクトロニクス書き込み済みフラッシュ製品用 ROM コード生成ユーティリティ HEX Consolidation Utility (HCU) で生成した HCUHEX ファイルの読み込み機能を追加しました。機能詳細は、4. マニュアル差分情報を参照してください。

【改善案】 製品バージョン C8,A8 (ファームウェア:V2.03/FPGA:V2/GUI:V2.03)以上で仕様追加されております。

No.18 プログラムファイル・サイズ監視機能追加

【内 容】 FP5 管理設定ダイアログに[プログラムファイル・サイズ監視機能]チェック・ボックスを追加しました。プログラム・ファイルのサイズが書き込む範囲を超えていた場合、書き込みコマンドを中断する機能です。機能詳細は、4. マニュアル差分情報を参照してください。

【改善案】 製品バージョン C8,A8 (ファームウェア:V2.03/FPGA:V2/GUI:V2.03)以上で仕様追加されております。

No.19 Powerボタンの仕様変更

【内 容】 FP5 の電源を ON にする時、POWER ボタンを長押し(約 1 秒間)することで電源 ON になる仕様に変更しました。

【改善案】 製品バージョン C8,A8 (ファームウェア:V2.03/FPGA:V2/GUI:V2.03)以上で仕様追加されております。

No.20 [FSW変更禁止]機能追加

【内 容】 [FSW 変更禁止]機能を追加しました。機能詳細は、ユーザズ・マニュアルを参照してください。

【改善案】 製品バージョン C10,A10 (ファームウェア:V2.05/FPGA:V2/GUI:V2.05)以上で仕様追加されております。

No.21 [OCD セキュリティ ID 設定]機能, [オプション・バイト設定]機能追加

【内 容】 [OCD セキュリティ ID 設定]機能, [オプション・バイト設定]機能を追加しました。機能詳細は、ユーザーズ・マニュアル(4版以上)を参照してください。

【改善案】 製品バージョン C10,A10 (ファームウェア:V2.05/FPGA:V2/GUI:V2.05)以上で仕様追加されております。

No.22 14 ピンインタフェース対応

【内 容】 従来のターゲット・ケーブル(16 ピンタイプ)に E1 エミュレータの 14 ピンインタフェースと互換性のある、ターゲット・ケーブル(14 ピンタイプ)を 2011 年 7 月出荷分より追加添付しました。機能詳細は第 4 章 ドキュメント訂正を参照してください。

【改善案】 製品バージョン D12,C12,A12 (ファームウェア:V2.06/FPGA:V4/GUI:V2.06)以上で仕様追加されております。

No.23 RL78 ファミリ対応

【内 容】 RL78 ファミリに対応しました。

機能詳細や回路例は第 4 章 ドキュメント訂正を参照してください。

【改善案】 製品バージョン D12,C12,A12 (ファームウェア:V2.06/FPGA:V4/GUI:V2.06)以上で仕様追加されております。

No.24 RX600 シリーズ対応

【内 容】 RX600 シリーズに対応しました。

機能詳細や回路例は第 4 章 ドキュメント訂正を参照してください。

【改善案】 製品バージョン D12,C12,A12 (ファームウェア:V2.06/FPGA:V4/GUI:V2.06)以上で仕様追加されております。

No.25 対応 Windows の変更

【内 容】 Windows 7(32bit 版, 64bit 版), Windows Vista(64bit 版)をサポート追加しました。

Windows 2000 をサポート対象外としました。

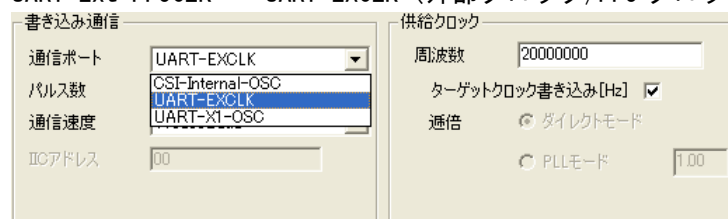
【改善案】 製品バージョン D12,C12,A12 (ファームウェア:V2.06/FPGA:V4/GUI:V2.06)以上で仕様追加されております。

No.26 78K0 の UART 外部クロック書き込みに対応

【内 容】 78K0 の UART 通信による書き込みにおいて、マイコンの EXCLK 端子に外部クロックを入力したターゲット・システムの書き込みに対応しました。設定方法は[通信ポート]リスト・ボックスで UART-EXCLK を選択, [ターゲットクロック書き込み[Hz]]チェック・ボックスをチェックし, 任意の周波数を[周波数]ボックスに入力してください。なお, 今回の仕様追加に伴い, [通信ポート]リスト・ボックス内の表示は以下のように仕様変更しました。

UART-Ext-OSC → UART-X1-OSC (外部発振子を使用する場合)

UART-Ext-FP5CLK → UART-EXCLK (外部クロック/FP5 クロックを使用する場合)



【改善案】 製品バージョン D12,C12,A12 (ファームウェア:V2.06/FPGA:V4/GUI:V2.06)以上で仕様追加されております。

No.27 インストーラの変更

【内 容】 Windows7 ホストマシンへの USB ドライバインストール方法を別文書で用意しました。

【改善案】 製品バージョン D12,C12,A12 (ファームウェア:V2.06/FPGA:V4/GUI:V2.06)以上で仕様追加されております。

No.28 デバイスイメージ・ファイル読み込み機能の仕様追加

【内 容】フラッシュ開発ツールキットで対応しているデバイスイメージ・ファイル(DDI ファイル)の読み込み機能を追加しました。なお、保存機能はありません。また、ヘキサエディタでは読み込みできません。

【改善案】製品バージョン D12,C12,A12 (ファームウェア:V2.06/FPGA:V4/GUI:V2.06)以上で仕様追加されております。

No.29 R8C ファミリ対応

【内 容】R8C ファミリに対応しました。

【改善案】製品バージョン D13,C13,A13 (ファームウェア:V2.07/FPGA:V4/GUI:V2.07)以上で仕様追加されております。

No.30 SuperH ファミリ対応

【内 容】SuperH ファミリに対応しました。

【改善案】製品バージョン D13,C13,A13 (ファームウェア:V2.07/FPGA:V4/GUI:V2.07)以上で仕様追加されております。

No.31 RX ファミリのファイルチェックサム機能を仕様変更

【内 容】RX ファミリのチェックサムコマンド仕様にあわせ、ファイルチェックサム機能を仕様変更しました。RX ファミリのチェックサムコマンド仕様は、ROM サイズが $8K \times 2^n$ バイトに満たない場合、 $8K \times 2^n$ バイトまで空き領域を FFh で補完し、 $8K \times 2^n$ バイトの範囲を計算します。

例1) ROM サイズが 384K バイトの場合、512K バイトまで空き領域を FFh で補完し、512K バイトの範囲を計算します。

例2) ROM サイズが 256K バイトの場合、256K バイトまで空き領域を FFh で補完し、256K バイトの範囲を計算します。

【改善案】製品バージョン D16,C16,A16 (ファームウェア:V2.10/FPGA:V4/GUI:V2.10)以上で仕様追加されております。

No.32 データ・フラッシュの最小単位書き込み機能追加

【対象マイコン】V850E2/Fx4-L, V850E2/FF4-G, V850E2/FG4-G

【内 容】データ・フラッシュの最小単位書き込み機能を追加しました。最小単位書き込み機能とは、データ・フラッシュにおいて、データが存在する領域に対して、最小単位で、書き込み、ペリファイ、読み出しを行います。デバイス・セットアップ・ダイアログ[アドバンス]タブのコマンドオプションエリアの[最小単位書き込み]チェック・ボックスをチェックすると有効になります。

【改善案】製品バージョン D16,C16,A16 (ファームウェア:V2.10/FPGA:V4/GUI:V2.10)以上で仕様追加されております。

No.33 電源アダプタの仕様変更

【内 容】添付品の電源アダプタの仕様を変更しました。

(AC プラグ固定タイプ電源 → AC ケーブルタイプ電源+日本仕様 AC ケーブル)

日本以外で使用する場合は、各国対応の AC ケーブルをご使用ください。

【改善案】製品バージョン D17 (ファームウェア:V2.10/FPGA:V4/GUI:V2.10)以上で仕様変更されております。

No.34 データ・フラッシュの最小単位書き込み機能追加

【対象マイコン】V850E2/Px4-L, V850E2/FF4-G, V850E2/FG4-G

【内 容】データ・フラッシュの最小単位書き込み機能を追加しました。最小単位書き込み機能とは、データ・フラッシュにおいて、データが存在する領域に対して、最小単位で、書き込み、ペリファイ、読み出しを行います。デバイス・セットアップ・ダイアログ[アドバンス]タブのコマンドオプションエリアの[最小単位

書き込み]チェック・ボックスをチェックすると有効になります。

【改善案】 D18,C18,A18 (ファームウェア:V2.11/FPGA:V4/GUI:V2.11)以上で仕様追加されております。

No.35 ユニークコード埋め込み機能追加

【内 容】ユニークコード埋め込み機能を追加しました。ユニークコード埋め込み機能とは、読み込まれたプログラムファイルに対し、ユニークコードを指定領域に埋め込む機能です。

【改善案】 製品バージョン D18,C18,A18 (ファームウェア:V2.11/FPGA:V4/GUI:V2.11)以上で仕様追加されております。

No.36 プログラミングエリア設定で2分割を仕様追加

【内 容】プログラミングエリア設定において、分割パターンに2分割(Area0:10MB/Area1:6MB)を仕様追加しました。

【改善案】 製品バージョン D18,C18,A18 (ファームウェア:V2.11/FPGA:V4/GUI:V2.11)以上で仕様追加されております。

No.37 FINE 書き込み機能追加

【対象マイコン】 RX100 シリーズ, RX200 シリーズ

【内 容】 RX100 シリーズ, RX200 シリーズにおいて、マイコンの FINE 端子による書き込み機能をサポートしました。

【改善案】 製品バージョン D18,C18,A18 (ファームウェア:V2.11/FPGA:V4/GUI:V2.11)以上で仕様追加されております。

No.38 ファイルチェックサム機能における、合計値の計算方法を変更

【対象マイコン】 RX, SuperH および R8C ファミリのデータフラッシュを持つマイコン

【内 容】 ファイルチェックサム機能における、合計値の計算方法を変更しました。

旧仕様：コードフラッシュ領域とデータフラッシュ領域をまとめて一度に計算する。

新仕様：コードフラッシュ領域とデータフラッシュ領域を分割して計算した後、その結果を加算する。

注：

32 ビット加算計算方式を選択している場合は、旧仕様であっても新仕様であってもチェックサムの結果は変わりませんが、32 ビット CRC 方式を選択している場合は、結果が異なりますので、注意してください。

【改善案】 製品バージョン D18,C18,A18 (ファームウェア:V2.11/FPGA:V4/GUI:V2.11)以上で仕様変更されております。

No.39 対応 Windows の変更

【対象マイコン】 全て

【内 容】 Windows 8.1(32bit 版, 64bit 版)をサポート追加しました。Windows XP をサポート対象外としました。

【改善案】 製品バージョン D19,C19,A19 (ファームウェア:V2.12/FPGA:V4/GUI:V2.12)以上で仕様変更されております。

No.40 RH850 ファミリ, RX700 シリーズ(RX64x グループ含む)対応

【対象マイコン】 RH850, RX700(RX64x 含む)

【内 容】 RH850 ファミリ, RX700 シリーズ(RX64x グループ含む)に対応しました。なお、マイコンによって対応バージョンが異なる可能性があります。対応デバイス一覧を参照してください。

【改善案】 製品バージョン D19,C19,A19 (ファームウェア:V2.12/FPGA:V4/GUI:V2.12)以上で仕様変更されております。

No.41 通信ポート名の仕様変更

【対象マイコン】 RX (RX700, RX64x 除く), SuperH

【内 容】 デバイスセットアップダイアログ[スタンダード]タブの[通信ポート]リストボックスに表示される項目について、

UART-ch0 から UART に変更しました。

【改善案】 製品バージョン D19,C19,A19 (ファームウェア:V2.12/FPGA:V4/GUI:V2.12)以上で仕様変更されております。

No.42 Trusted Memory 機能対応

【対象マイコン】 RX700(RX64x 含む)

【内 容】 Trusted memory 機能に対応しました。

【改善案】 製品バージョン D20,C20,A20 (ファームウェア:V2.13/FPGA:V4/GUI:V2.13)以上で仕様変更されております。

No.43 データフラッシュの最小単位書き込み機能追加

【対象マイコン】 RX(RX700, RX64x 除く), RH850(RH850/F1L 除く)

【内 容】 データフラッシュの最小単位書き込み機能を追加しました。最小単位書き込み機能とは、データフラッシュにおいて、データが存在する領域に対して、最小単位で、書き込み、ベリファイ、読み出しを行います。デバイスセットアップダイアログ[アドバンス]タブの[最小単位書き込み]チェックボックスをチェックすると有効になります。最小単位は、従来、ブロック単位のみでしたが、今回、マイコンのブートモードが取り扱う最小単位に追加で対応しました。ブートモードで取り扱うことが可能な最小単位については、ターゲットデバイスのユーザーズマニュアルを参照してください。

【改善案】 製品バージョン D20,C20,D20(ファームウェア:V2.13/FPGA:V4/GUI:V2.13)以上で仕様変更されております。

No.44 対応 Windows の変更

【内 容】 Windows 10(32bit 版, 64bit 版)をサポート追加しました。

【改善案】 製品バージョン D23,C23,A23(ファームウェア:V2.14/FPGA:V4/GUI:V2.14)以上で仕様変更されております。

No.45 電源ジャックの補強

【内 容】 電源プラグの挿抜の度に、基板に取り付けられた電源ジャックのリード半田付部にストレスがかかり、使用状況によっては座剥がれ・ハンダクラックによる導通不良が発生するケースがあったため、樹脂部を基板に接着固定する補強を行いました。

【改善案】 製品バージョン D24 で仕様変更されております。



————— 製品バージョンD25 で下記追加 —————

No.45 データフラッシュの最小単位書き込み機能追加

【対象マイコン】 RX700, RX64x, RX65x, RH850/F1L

【内 容】 データフラッシュの最小単位書き込み機能を追加しました。最小単位書き込み機能とは、データフラッシュにおいてデータが存在する領域に対して、最小単位で、書き込み、ベリファイを行います。デバイスセットアップダイアログ[アドバンス]タブの[最小単位書き込み]チェックボックスをチェックすると有効になります。最小単位は、従来、ブロック単位のみでしたが、今回、マイコンのブートモードが取り扱う最小単位に追加で対応しました。ブートモードで取り扱うことが可能な最小単位については、ターゲットデバイスのユーザーズマニュアルを参照してください。

【改善案】 製品バージョン D25(ファームウェア:V2.15/FPGA:V4/GUI:V2.15)以上で仕様変更されております。

No.46 sid コマンドに任意の ID コードを指定する機能追加

【対象マイコン】 RH850

【内 容】 通信コマンドの sid コマンドにおいて、任意の ID コードを指定する機能を追加しました。指定すると、ESF ファイルに保存された設定用 ID コードを使用せず、指定の ID コードをターゲットデバイスに設定します。

【改善案】 製品バージョン D25(ファームウェア:V2.15/FPGA:V4/GUI:V2.15)以上で仕様変更されております。

No.47 対応 Windows の変更

【内 容】 Windows Vista(32bit 版, 64bit 版), Windows 8(32bit 版, 64bit 版)をサポート対象外としました。

【改善案】 製品バージョン D25(ファームウェア:V2.15/FPGA:V4/GUI:V2.15)以上で仕様変更されております。

3. 制限事項

3.1 制限事項一覧

No.	制限事項	製品バージョン																	
		A0	A3	A4	A6	A7	C8	C9	C11	D12	D13	D15/14	D16/17	D18	D19	D22-20	D24/23	D25.	
		A2	A5				A8	A9	C10	C12	C13	C15/14	D16	C18	C19	C20	C23	C25	
							A10	A12	A13	A15/14	A16	A18	A19	A20	A23	A25			
1	Invalid Device Port を表示する制限	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	
2	スタンド・アローン操作時に特定条件により操作できなくなる制限	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	
3	[Erase memory before download]無効時でもイレースする制限	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	
4	ステータス・バーが不正表示する制限	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	
5	Run after Disconnect 設定時、5V 固定でプルアップする制限	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	
6	擬似 3 線式、I2C 通信で FP5CLK 選択時にクロック供給されない制限	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	
7	モトローラSのプログラム・ファイル選択時、リスト・ボックスに表示しない制限	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	
8	78K0S(単線 UART)使用時、FLMD0 端子 Low 出力する制限	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	
9	Upprm,upset コマンド実行時、特定箇所が大文字に不正変換する制限	x	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	
10	Simple モードでプログラム・ファイルをダウンロード時、Checksum 計算結果が不正になる制限	-	-	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	
11	バンク・モード時にプログラム・ファイルのバンク切り替えができない制限	-	-	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	
12	モトローラ・ヘキサ・フォーマット・S1 レコードのプログラム・ファイルを読み込むと不正になる制限	x	x	x	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	
13	USB ドライバのインストールに関する制限	x	x	x	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	
14	“NAND flash - Mapping Error”が表示される制限	x	x	x	x	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	
15	メッセージ・ディスプレイが更新されない制限	x	x	x	x	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	
16	RL78 のフラッシュ・オプションが取得できない制限	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	
17	R8C からの読み出しに関する制限	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	
18	シンプル・モードでパラメータ・ファイルがダウンロードできない制限	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	
19	チェックサム照合機能に関する制限	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o	o	o	o	o	o	o	
20	ファイルチェックサム機能に関する制限	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o	o	o	o	o	o	
21	プログラムファイルのダウンロードエラーに関する制限	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o	o	o	o	o	o	
22	ファイルチェックサムコマンドの表示に関する制限	-	-	-	-	-	-	-	-	x	x	x	x	o	o	o	o	o	

No.	制限事項	製品バージョン																	
		A0	A3	A4	A6	A7	C8	C9	C11	D12	D13	D15/14	D16/17	D18	D19	D22-20	D24/23	D25	
		A2	A5	A8	A9	C10	C12	C13	C15/14	D16	C18	C19	C20	C23	C25				
							A10	A12	A13	A15/14	A16	A18	A19	A20	A23	A25			
23	読み出し（表示）コマンドに関する制限	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○	○	
24	ユニークコードに関する制限	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	x	○	○	○	○		
25	ユニークコードの指定アドレスに関する制限	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	x	○	○	○	○		
26	最少単位書き込み機能の制限	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	x	x	○	○	○	○		
27	FINE 通信選択時の IO 信号設定に関する制限	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	x	○	○	○	○		
28	フラッシュオプションの取得コマンドに関する制限（RX200 シリーズ、RX600 シリーズ）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	x	○	○	○	○		
29	フラッシュオプションの取得コマンドに関する制限（SuperH ファミリ）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	x	○	○	○	○		
30	オプションバイト設定および OCD セキュリティ ID 設定に関する制限	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	x	○	○	○	○		
31	コードフラッシュ領域へのプログラムファイルダウンロードに関する制限	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	x	○	○	○	○		
32	データフラッシュ領域へのプログラムファイルダウンロードに関する制限	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	x	○	○	○	○		
33	オプション設定メモリのデータを含むプログラムファイルに関する制限	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	x	○	○	○		
34	ESF ファイルの設定変更に関する制限	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○		
35	プログラムファイルのダウンロードに関する制限事項	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	x	○	○		
★ 36	添付ACアダプタ輸出に関する制限（D22.以降）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○		
37	プログラムファイルのダウンロードに関する制限	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	x	x	x	○	○		

－：対象外 ×：修正されていない ○：修正済み

3.2 制限事項詳細

No.1 Invalid Device Port が表示する制限

【内 容】 PR5 ファイルのダウンロードを行うと、アクション・ログ・ウインドウに Invalid Device Port が表示される場合があります。表示した場合はそれ以降、正常に PR5 ファイルをダウンロードすることができません。

【回避策】 申し訳ございませんが回避策はございません。

【改善案】 製品バージョン A4(ファームウェア:V2.00/FPGA:V2/GUI:V2.00)以上で修正されております。

No.2 スタンド・アローン操作時に特定条件により操作できなくなる制限

【内 容】 プログラミング GUI が起動していない状態で、FP5 本体のコントロール・ボタンの操作によるコマンドを実行し続けると、FP5 本体のメッセージ・ディスプレイに ERROR: 800 Res. by Watchdog と表示し、以降操作できなくなる場合があります。

【回避策】 申し訳ございませんが回避策はございません。該当する制限事項が発生した場合、POWER ボタンも操作できなくなるため、AC アダプタの抜き差しで FP5 本体を再起動してください。

【改善案】 製品バージョン A3(ファームウェア:V1.01/FPGA:V1/GUI:V1.00)以上で修正されております。

No.3 [Erase memory before download]無効時でもイレースする制限

【内 容】 デバイス・セットアップ・ダイアログ[Target]タブの[Object HEX file]エリアで開く[Download file]ダイアログにおいて、[Erase memory before download]チェック・ボックスのチェックを外しても、メモリアreaがイレースされます。

【回避策】 申し訳ございませんが回避策はございません。

【改善案】 製品バージョン A4,A5(ファームウェア:V2.00/FPGA:V2/GUI:V2.00)以上で修正されております。

No.4 ステータス・バーが不正表示する制限

【内 容】 以下の(1)～(2)において、ステータス・バーが不正表示します。

(1) Checksum コマンド実行時に返ってくる SUM データが 5 秒以上かかった場合、不正に Error 表示する。

(2) コードフラッシュ、データフラッシュの Verify でコードフラッシュが PASS し、データフラッシュがエラーだった場合に不正に Pass 表示する。

【回避策】 申し訳ございませんが回避策はございません。

【改善案】 製品バージョン A4,A5(ファームウェア:V2.00/FPGA:V2/GUI:V2.00)以上で修正されております。

No.5 Run after Disconnect 設定時、5V 固定でプルアップする制限

【内 容】 Run after Disconnect 設定時、RESET 端子が Hi-Z のところ、不正に 5V 固定でプルアップします。

【回避策】 申し訳ございませんが回避策はございません。

【改善案】 製品バージョン A4(ファームウェア:V2.00/FPGA:V2/GUI:V2.00)以上で修正されております。

No.6 疑似 3 線式、I2C 通信で FP5CLK 選択時にクロック供給されない制限

【内 容】 疑似 3 線式、I2C 通信で FP5CLK 選択時にクロック供給されません。

【回避策】 申し訳ございませんが回避策はございません。

【改善案】 製品バージョン A4,A5(ファームウェア:V2.00/FPGA:V2/GUI:V2.00)以上で修正されております。

No.7 モトローラ S のプログラム・ファイル選択時、リスト・ボックスに表示しない制限

【内 容】 モトローラ S(*.rec 以外)のプログラム・ファイル選択時、リスト・ボックスに表示しません。

【回避策】 申し訳ございませんが回避策はございません。

【改善案】 製品バージョン A4,A5(ファームウェア:V2.00/FPGA:V2/GUI:V2.00)以上で修正されております。

No.8 78K0S(単線 UART)使用時、FLMD0 端子が Low 出力する制限

【内 容】 78K0S(単線 UART)使用時、ターゲット・システム側で CLK 端子と FLMD0 端子をショートする処理を行っていた場合、FLMD0 端子が Hi-Z のところ、不正に Low 出力するため、書込むことができません。条件として、78K0S(単線 UART)使用前に FLMD0 端子を使用するマイコンを使用していた場合です。

【回避策】 78K0S(単線 UART)用のパラメータ・ファイルをダウンロードした後に、FP5 のリセット・コマンドを実行、または FP5 の電源を OFF、ON することで、以降 FLMD0 端子は Hi-Z になります。

【改善案】 製品バージョン A4,A5(ファームウェア:V2.00/FPGA:V2/GUI:V2.00)以上で修正されております。

No.9 upprm, upset コマンド実行時、特定箇所が大文字に不正変換する制限

【内 容】 upprm コマンド実行時、フォーマット・バージョンの a が A に不正変換します。また、upset コマンド実行時、パラメータ・ファイルの拡張子が大文字に不正変換します。なお、本コマンドで生成されたファイルを使用しても問題ありません。

【回避策】 申し訳ございませんが回避策はございません。

【改善案】 製品バージョン A6(ファームウェア:V2.01/FPGA:V2/GUI:V2.01)以上で修正されております。

No.10 Simple モードでプログラム・ファイルをダウンロード時、Checksum 計算結果が不正になる制限

【内 容】 Simple モードにおいてデータ・フラッシュを含むプログラムをダウンロードした場合に、FP5 本体のメッセージ・ディスプレイに表示する Checksum の計算結果が本来コード・フラッシュとデータ・フラッシュ領域を合わせた結果を表示するところ、コード・フラッシュ領域のみの計算結果が表示されます。

【回避策】 申し訳ございませんが回避策はございません。

【改善案】 製品バージョン A6(ファームウェア:V2.01/FPGA:V2/GUI:V2.01)以上で修正されております。

No.11 バンク・モード時にプログラム・ファイルのバンク切り替えができない制限

【内 容】 バンク・モード時、リモート・コネクタのバンク信号でプログラミング・エリアを選択した場合、本来バンク信号で選択したプログラミング・エリアが優先される所、誤ってプログラミング GUI で選択されているプログラミング・エリアにあるプログラムファイルを選択しプログラムファイル PR5 ファイル、ESF ファイルはバンク信号で選択した設定に切り替わります。

例) プログラミング GUI で選択したプログラミング・エリア: 0

バンク信号で選択したプログラミング・エリア : 1

この場合、プログラミング・エリア 1 の PR5 ファイル、ESF ファイルが指定され、プログラミング・エリア 0 のプログラムファイルが指定されます。

【回避策】 申し訳ございませんが回避策はございません。

【改善案】 製品バージョン A6(ファームウェア:V2.01/FPGA:V2/GUI:V2.01)以上で修正されております。

No.12 モトローラ・ヘキサ・フォーマット・S1 レコードのプログラム・ファイルを読み込むと不正になる制限

【内 容】 モトローラ・ヘキサ・フォーマット・S1 レコードのプログラム・ファイルを FP5 に読み込むと、指定したプログラミング・エリアのプログラム・ファイル保存データが不正になります。

【回避策】 申し訳ございませんが回避策はございません。

【改善案】 製品バージョン C8,A8 (ファームウェア:V2.03/FPGA:V2/GUI:V2.03)以上で修正されております。

No.13 USB ドライバのインストールに関する制限

【内 容】 製造番号の異なる FP5 をホストマシンの同一の USB ポートに接続した場合、USB ドライバが自動認識せず、USB ドライバのインストールを要求されてしまいます。

【回避策】 申し訳ございませんが回避策はございません。

【改善案】 製品バージョン C8,A8 (ファームウェア:V2.03/FPGA:V2/GUI:V2.03)以上で修正されております。

No.14 “NAND flash – Mapping Error”が表示される制限

【内 容】下記(1), (2)を満たす条件で継続使用すると、プログラム・ファイルのダウンロード時、または書き込み操作を行うコマンド実行時、下記エラーがアクション・ログ・ウインドウに表示される場合があります。

(1)FFh のデータがまとまって 16K バイト以上あるプログラム・ファイルを使用する。

(2) (1)のプログラム・ファイルのダウンロードを頻繁に行う。

[エラー表示内容]

*** System Error(s), Warning(s):

Warning: NAND flash – Mapping Error

なお、上記エラーが表示されたとしても、ダウンロードや書き込み操作を行うコマンドは正常に動作します。

【回避策】上記エラーが表示された場合、弊社販売員または特約店までご連絡ください。

【改善案】製品バージョン C9,A9 (ファームウェア:V2.04/FPGA:V2/GUI:V2.03)以上で修正されております。

NO.15 メッセージ・ディスプレイが更新されない制限

【内 容】 FP5 のメッセージ・ディスプレイが、書き込み中に停止して更新されない場合があります。

なお、本状態になっても、ダウンロードや書き込み操作を行うコマンドは正常に動作します。

【回避策】 申し訳ございませんが回避策はございません。

【改善案】 製品バージョン C9,A9 (ファームウェア:V2.04/FPGA:V2/GUI:V2.03)以上で修正されております。

No.16 RL78 のフラッシュ・オプションが取得できない制限

【内 容】 RL78 において、セキュリティ設定が有効なマイコンに[フラッシュ・オプションの取得(I)]コマンドを実行しても”E1601 プロテクトエラーです。”が表示され、フラッシュ・オプションが取得できません。

【回避策】 ありません。

【改善案】 製品バージョン D13,C13,A13 (ファームウェア:V2.07/FPGA:V4/GUI:V2.07)以上で修正されております。

No.17 R8C からの読み出しに関する制限

【内 容】 R8C からフラッシュ・メモリのデータを読み出す際、[読み出し(R)]->[インテルフォーマットで保存(W)]コマンドを実行すると、データ・フラッシュのアドレス配置を誤って保存する場合があります。問題が発生した場合、エラーはでません。そのため、インテルフォーマットで保存したデータを使用しないでください。

【回避策】 ありません。

【改善案】 製品バージョン D14,C14,A14 (ファームウェア:V2.09/FPGA:V4/GUI:V2.09)以上で修正されております。

No.18 シンプル・モードでパラメータ・ファイルがダウンロードできない制限

【内 容】 シンプル・モードにおいて、パラメータ・ファイルをダウンロードすると、”ERROR(E009): HEX file contains invalid data !!”が発生し、ダウンロードできない場合があります。

【回避策】 デバイス・セットアップ・ダイアログ[ターゲット]タブにあるクリアボタンを押して、プログラミング・エリアをクリアにしてください。

【改善案】 製品バージョン D14,C14,A14 (ファームウェア:V2.09/FPGA:V4/GUI:V2.09)以上で修正されております。

No.19 チェックサム照合機能に関する制限

【対象マイコン】 V850E2/Fx4-L, V850E2/FF4-G, V850E2/FG4-G, V850E2/Px4-L

【内 容】 チェックサム照合機能を有効にして、チェックサムコマンドを実行すると、チェックサム値は正しく表示しますが、照合用データ生成において、データフラッシュのアドレス範囲を誤っており、照合結果がエラーになります。

【回避策】 ありません。

【改善案】 製品バージョン D16,C16,A16 (ファームウェア:V2.10/FPGA:V4/GUI:V2.10)以上で修正されております。

No.20 ファイルチェックサム機能に関する制限

【対象マイコン】 V850E2/Px4-L

【内 容】 ファイルチェックサムダイアログで[デバイス範囲]選択時、データフラッシュの開始/終了アドレスが正しく設定されません。

【回避策】 [指定範囲]を選択することで正しい範囲が初期値として指定されます。

【改善案】 製品バージョン D18,C18,A18 (ファームウェア:V2.11/FPGA:V4/GUI:V2.11)以上で修正されております。

No.21 プログラムファイルのダウンロードエラーに関する制限

【内 容】 下記条件のプログラムファイルをダウンロードすると、プログラミング GUI と FP5 本体が通信異常となる場合があります。通信異常になると、プログラミング GUI のステータスバーが「異常終了」と表示されます。

条件:データレコード長が 250 バイト以上のプログラムファイル

【回避策】 コンパイラでデータレコード長を 250 バイト未満になるように設定してください。

【改善案】 製品バージョン D18,C18,A18 (ファームウェア:V2.11/FPGA:V4/GUI:V2.11)以上で修正されております。

No.22 ファイルチェックサムコマンドの表示に関する制限

【対象マイコン】 RX, SuperH, R8C

【内 容】 ファイルチェックサムを実行時、プログラミングパラメータウィンドウの[ファイルチェックサム]エリアに正しく表示されません。

【回避策】 ファイルチェックサムの結果はアクションログウィンドウを参照してください。

【改善案】 製品バージョン D18,C18,A18 (ファームウェア:V2.11/FPGA:V4/GUI:V2.11)以上で修正されております。

No.23 読み出し(表示)コマンドに関する制限

【対象マイコン】 データフラッシュと ID Tag を搭載した V850

【内 容】 データフラッシュのブロック 0 を含まない範囲で動作モードを設定して、「読み出し(表示)」コマンドを実行した場合、実際に読み出したアドレスとアクションログウィンドウに表示するアドレスが異なります。

【回避策】 ありません。

【改善案】 製品バージョン D19,C19,A19 (ファームウェア:V2.12/FPGA:V4/GUI:V2.12)以上で修正されております。

No.24 ユニークコードに関する制限

【対象マイコン】 データフラッシュと ID Tag を搭載した V850

【内 容】 データフラッシュのブロック 0 を含まない範囲で動作モードを設定して、ユニークコード埋め込み機能を実行した場合、不正アドレスに埋め込みます。

【回避策】 ありません。

【改善案】 製品バージョン D19,C19,A19 (ファームウェア:V2.12/FPGA:V4/GUI:V2.12)以上で修正されております。

No.25 ユニークコードの指定アドレスに関する制限

【内 容】 ユニークコード埋め込み機能において、ユニークコードを埋め込むアドレス範囲が FFFFFFF0h~FFFFFFFh を含む場合、FFFFFF0h~FFFFFFFh にユニークコードを埋め込みません。

【回避策】 ありません。

【改善案】 製品バージョン D19,C19,A19 (ファームウェア:V2.12/FPGA:V4/GUI:V2.12)以上で修正されております。

No.26 最小単位書き込み機能に関する制限

【対象マイコン】 V850E2/Fx4-L, V850E2/FF4-G, V850E2/FG4-G, V850E2/Px4-L

【内 容】 フラッシュメモリのアドレス範囲を超えたプログラムファイルを選択して、最小単位書き込み機能を有効にするとプログラミング GUI が正常動作しません。

【回避策】 ありません。上記設定にした場合、プログラミング GUI を再起動してください。最小単位書き込み機能が無効の設定状態で起動します。

【改善案】 製品バージョン D19,C19,A19 (ファームウェア:V2.12/FPGA:V4/GUI:V2.12)以上で修正されております。

No.27 FINE 通信選択時の IO 信号設定に関する制限

【対象マイコン】 RX200 シリーズ

【内 容】 FINE 通信を選択した場合、[IO 信号設定]エリアが編集可能なように表示してしまいます。なお、どのような設定にしても、I00、1、2、4、5 端子は” High-Z” 固定、I03 は FINE 端子との通信端子となるため、動作に影響ありません。

【回避策】 ありません。

【改善案】 製品バージョン D19,C19,A19 (ファームウェア:V2.12/FPGA:V4/GUI:V2.12)以上で修正されております。

No.28 フラッシュオプションの取得コマンドに関する制限

【対象マイコン】 RX200 シリーズ、RX600 シリーズ

【内 容】 フラッシュオプションの取得コマンドではロックビット設定が正しく取得できません。

【回避策】 通信コマンド 'glb' を使用して取得してください。

【改善案】 製品バージョン D19,C19,A19 (ファームウェア:V2.12/FPGA:V4/GUI:V2.12)以上で修正されております。

No.29 フラッシュオプションの取得コマンドに関する制限

【対象マイコン】 SuperH ファミリ

【内 容】 Lock bit 機能非搭載のマイコンを使用時、[フラッシュオプションの取得]コマンドおよび通信コマンド 'glb' が実行できてしまいます。実行するとエラーになります。

【回避策】 ありません。

【改善案】 製品バージョン D19,C19,A19 (ファームウェア:V2.12/FPGA:V4/GUI:V2.12)以上で修正されております。

No.30 オプションバイト設定および OCD セキュリティ ID 設定に関する制限

【対象マイコン】 V850E2/Fx4-L, V850E2/FF4-G, V850E2/FG4-G, V850E2/Px4-L

【内 容】 以下条件を満たす場合、変更後の内容が ESF ファイルに保存されません。そのため、オプションバイトおよび OCD セキュリティ ID は、前回保存した値が FP5 ヘダダウンロードされます。

条件: 以下のすべての条件を満たす場合に発生します。

(1) データフラッシュの最小単位書き込み機能が有効になっている。

(2) オプションバイトおよび OCD セキュリティ ID の値を変更後、FP5 ヘダダウンロードする。

【回避策】 変更後のオプションバイトおよび OCD セキュリティ ID の値を保存するには、データフラッシュの最小単位書き込み機能を一度無効にして値を変更した後、データフラッシュの最小単位書き込み機能を有効にします。

【改善案】 製品バージョン D19,C19,A19 (ファームウェア:V2.12/FPGA:V4/GUI:V2.12)以上で修正されております。

No.31 コードフラッシュ領域へのプログラムファイルダウンロードに関する制限

【対象マイコン】 V850E2/Fx4-L, V850E2/FF4-G, V850E2/FG4-G

【内容】以下条件で、プログラムファイルを FP5 ヘダダウンロードすると、コードフラッシュ領域に誤ったデータがダウンロードされます。なお、誤ったデータがダウンロードされてもエラーメッセージは表示されません。

条件:以下のすべての条件を満たす場合に発生します。

(1) データフラッシュの最小単位書き込み機能が有効になっている。

(2) ダウンロード用のプログラムファイルが、インテルヘキサフォーマット形式のプログラムファイルである。

(3) ダウンロード用のプログラムファイルに、コードフラッシュデータおよびデータフラッシュデータが含まれている。

【回避策】 ありません。

【改善案】 製品バージョン D19,C19,A19 (ファームウェア:V2.12/FPGA:V4/GUI:V2.12)以上で修正されております。

No.32 データフラッシュ領域へのプログラムファイルダウンロードに関する制限

【対象マイコン】 V850E2/Px4-L

【内容】以下条件で、プログラムファイルを FP5 ヘダダウンロードすると、データフラッシュ領域に誤ったデータがダウンロードされる場合があります。なお、誤ったデータがダウンロードされた場合、エラーメッセージが必ず表示されるわけではありません。

条件:以下のすべての条件を満たす場合に発生します。

(1) データフラッシュの最小単位書き込み機能が有効になっている。

(2) ダウンロード用のプログラムファイルに、コードフラッシュデータおよびデータフラッシュデータが含まれている。

【回避策】 データフラッシュの最小単位書き込み機能を無効にして、プログラムファイルを FP5 ヘダダウンロードしてください。コードフラッシュデータおよびデータフラッシュデータが含まれているプログラムファイルを FP5 ヘダダウンロードする場合は、最小単位書き込み機能を使用できません。

【改善案】 製品バージョン D19,C19,A19 (ファームウェア:V2.12/FPGA:V4/GUI:V2.12)以上で修正されております。

No.33 オプション設定メモリのデータを含むプログラムファイルに関する制限

【対象マイコン】 RX700 (RX64x 含む)

【内容】オプション設定メモリのデータを含むプログラムファイルを FP5 に読み込んでもオプション設定メモリのデータを読み込みません。

【回避策】 オプション設定メモリの設定はデバイスセットアップダイアログ[スタンダード]タブで設定してください。

【改善案】 製品バージョン D20,C20,A20 (ファームウェア:V2.13/FPGA:V4/GUI:V2.13)以上で修正されております。従来のダイアログによる設定メニューは削除されました。必ず、オプション設定メモリ領域のデータを含むプログラムファイルを読み込んでください。

No.34 ESF ファイルの設定変更に関する制限

【内容】ESF ファイルの更新ができない状態でセットアップダイアログの設定を変更した場合、ESF ファイルは更新されず、

エラーも発生しません。ESF ファイルが更新できない状態とは以下があります。

例 1) ESF ファイル保存フォルダのセキュリティにおいて、変更権限がないユーザがプログラミング GUI を操作した場合

例 2) ESF ファイルのプロパティ[属性]において、読み取り専用をチェックした場合

【回避策】 例 1) の場合、更新権限のあるフォルダに ESF ファイルをコピーしてください。

例 2) の場合、読み取り専用のチェックを外してください。

【改善案】製品バージョン D23.C23.A23.(ファームウェア:V2.14/FPGA:V4/GUI:V2.14)以上で修正されております。

No.35 プログラムファイルのダウンロードに関する制限

【対象マイコン】 RH850, RX, SuperH, R8C

【内容】データレコードのバイト数の最大値が 249 バイト以上のプログラムファイルをダウンロードした場合、以下のエラーメッセージが発生しダウンロードできません。

エラーメッセージ: E1803 プログラムファイルのフォーマット不正を検出しました。

【回避策】コンパイラの設定で、プログラムファイルのデータレコードのバイト数の最大値を 249 バイト未満に変更してください。

【改善案】製品バージョン D23.C23.A23. (ファームウェア:V2.14/FPGA:V4/GUI:V2.14)以上で修正されております。

NO.36 添付ACアダプタ輸出に関する制限

【内容】製品添付の AC アダプタ本体部の銘板へ「Don't use in the U.S.A and Canada」の表示を追加しました。

※2016 年 2 月米国エネルギー規制改正(エネルギー効率レベルの引き上げ)により、2016 年 2 月以降製造のアダプタが北米区域に輸出が出来なくなりました

【回避策】製品バージョン D21.以前に添付されていたアダプタは輸出可能です。

(銘板へ「Don't use in the U.S.A and Canada」の表示の無いもの)

★【改善案】2017 年 1 月より北米対応品を別売にてお取り扱い致します

No.37 プログラムファイルのダウンロードに関する制限

【内容】以下条件でプログラムファイルをダウンロードした場合、以下のエラーメッセージが発生しダウンロードできません。

エラーメッセージ:

Invalid character.

Invalid argument.

条件:以下のすべての条件を満たす場合に発生します。

(1) プログラムファイルの更新日時が 0 時付近

(2) サマータイム実施期間中プログラムファイルをプログラミング GUI でダウンロードする。

例:

オークランド(UTC+12:00)で 2016-08-01 2:06 に作成したプログラムファイルを東京(UTC+9:00)

(東京での更新日時は 2016-07-31 23:06)でダウンロードした場合

```
>lod fname="sample.mot" ftime="2016-08-01 -1:06"
```

Invalid character.

Invalid argument.

【回避策】ありません。

【改善案】製品バージョン D23.C23.A23. (ファームウェア:V2.14/FPGA:V4/GUI:V2.14)以上で修正されております。

以上